

会 議 録

会議の名称	長期計画審議会（第4回）																																				
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係																																				
開催日時	平成27年6月25日（木）午後6時～午後8時20分																																				
開催場所	市民会館3階 萌え木ホール A会議室																																				
出席者 （15人）	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">会長</td> <td style="width: 25%;">渡邊 嘉二郎</td> <td style="width: 25%;">委員</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>職務代理者</td> <td>高橋 雅栄</td> <td>委員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>久保 節紀</td> <td>委員</td> <td>中村 裕子 委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>渡邊 智子</td> <td>委員</td> <td>竹之内 一幸 委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄矢 悦朗</td> <td>委員</td> <td>今井 啓一郎 委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上原 和</td> <td>委員</td> <td>志田 尚紀 委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>本木 治子</td> <td>委員</td> <td>福元 弘和 委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉山 薫</td> <td>委員</td> <td>谷本 俊哉 委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>河野 律子</td> <td>委員</td> <td></td> </tr> </table>	会長	渡邊 嘉二郎	委員		職務代理者	高橋 雅栄	委員		委員	久保 節紀	委員	中村 裕子 委員		渡邊 智子	委員	竹之内 一幸 委員		鉄矢 悦朗	委員	今井 啓一郎 委員		上原 和	委員	志田 尚紀 委員		本木 治子	委員	福元 弘和 委員		杉山 薫	委員	谷本 俊哉 委員		河野 律子	委員	
会長	渡邊 嘉二郎	委員																																			
職務代理者	高橋 雅栄	委員																																			
委員	久保 節紀	委員	中村 裕子 委員																																		
	渡邊 智子	委員	竹之内 一幸 委員																																		
	鉄矢 悦朗	委員	今井 啓一郎 委員																																		
	上原 和	委員	志田 尚紀 委員																																		
	本木 治子	委員	福元 弘和 委員																																		
	杉山 薫	委員	谷本 俊哉 委員																																		
	河野 律子	委員																																			
欠席者	岡本 鮎実 委員																																				
事務局	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">企画政策課長</td> <td style="width: 50%;">水落 俊也</td> </tr> <tr> <td>企画政策課長補佐</td> <td>中田 陽介</td> </tr> <tr> <td>企画政策課係長</td> <td>廣田 豊之</td> </tr> <tr> <td>企画政策課主任</td> <td>工藤 真矢</td> </tr> <tr> <td>有限責任監査法人トーマツ</td> <td>堀井 敬太</td> </tr> </table>	企画政策課長	水落 俊也	企画政策課長補佐	中田 陽介	企画政策課係長	廣田 豊之	企画政策課主任	工藤 真矢	有限責任監査法人トーマツ	堀井 敬太																										
企画政策課長	水落 俊也																																				
企画政策課長補佐	中田 陽介																																				
企画政策課係長	廣田 豊之																																				
企画政策課主任	工藤 真矢																																				
有限責任監査法人トーマツ	堀井 敬太																																				
関連課	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">企画調整担当課長</td> <td style="width: 50%;">今井 哲也</td> </tr> <tr> <td>行政経営担当課長</td> <td>三浦 真</td> </tr> <tr> <td>財政課長</td> <td>大津 雅利</td> </tr> <tr> <td>納税課長</td> <td>堤 直規</td> </tr> </table>	企画調整担当課長	今井 哲也	行政経営担当課長	三浦 真	財政課長	大津 雅利	納税課長	堤 直規																												
企画調整担当課長	今井 哲也																																				
行政経営担当課長	三浦 真																																				
財政課長	大津 雅利																																				
納税課長	堤 直規																																				
傍聴の可否	㊦ 一部不可 不可																																				
傍聴者数	1人																																				
<p>【会議次第】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 後期基本計画（素案）《計画の推進分野》（後半）について 2 起草委員会の審議状況の結果について 3 「こがねいまちづくり カフェ」（市民懇談会）の運営について 4 その他 <p>※ 冒頭、次の1点について確認した。 第3回審議会、第2回の起草委員会の会議録について、メールにて校正確認依頼したが、修正がなかったため、決定とし公開している。</p>																																					

【会議結果】

1 後期基本計画（素案）《計画の推進分野》（後半）について

《資料 13》

○事務局から説明

- ・施策 63～68 までを議題であった。本日は後半部分、施策 69～73 までを対象に議論していただきたい。

○主な意見

- ・施策 69【計画とマネジメントの整備】について、制度的なものの整備に対して、職員がどのように位置づけられて稼働していくのか。

⇒施策 68【組織の活性化と人材の育成・活用】で、組織の活性化と人材の育成・活用といった取組をまとめている。（事務局）

- ・同じく施策 69 の取組④で施策マネジメントの制度の確立とあるが、具体的に誰がどうやって実施するのかまで書かないのか。

⇒施策マネジメントについては、説明会ヒアリング等を実施し職員に周知を図っている。あまり細かい部分まではここに書くのはどうかと思い、現在は記載していない。（事務局）

- ・施策 70【広域行政の推進】について、医療や介護の分野における広域的な取組の視点があっていいのではないか。

⇒基本的には、福祉系など各分野で記載しているが、それ以外に各分野に入れづらいものを計画の推進分野に記載している。福祉系の分野に広域行政を実施しているのかどうか確認し、やっていたら、どちらかに記載することになるかと思う。（事務局）

- ・施策 71【安定した財政運営の確立】について、中期財政計画とあるが、財政健全化のロードマップのようなものは表記されるのか。

⇒中期財政計画は、後期基本計画の財源のもととなるいわゆる財政的裏付けとなるものとして考えている。財政の健全化のもとになるようなものという作り方はしていない。（事務局）

- ・財政健全化の道筋はどのようにしていく予定か。

⇒行財政改革大綱というものが別があり、その計画を推進しているが、どのくらい財政指標がよくなるというところまでは出せるかどうかは今後の話だと思う。（事務局）

- ・例えば、家計が苦しい場合取る方法は、2つある。1つは、ないから取りに行く方法と、ないから節約するという方法。市でも、この両方が必要なのではないか。それぞれどのような方法を取るのかが市民が知りたいことなのではないか。お金がなくても、ないなりに、知恵を出して工夫してやっていく姿が見えるといいのでは。

⇒職員に説明する際に、最初にお金がないという話をしてから色々な説明

をするため、職員もそれが意識として植えているのではと思う。お金がなくて、次にどうしようかという、一歩先のところの話について、接遇を改善するなどして説明できる体制ができればいいと思うが、文章にいかしていくとするとなかなか難しい。

取りに行く方法と節約する方法は、それぞれ、施策 72【歳入の安定】と施策 73【歳出の適正化】に、国や都の補助金の確保や市税収入の確保、経常経費の削減や既存事業の見直しなど記載しており、努力させていたが、なかなか平易に記載するのは難しい。（事務局）

・安定した行政運営について、『安定した』ものがなんなのか、目標がわかるようにすると市民も安心するのでは。

⇒安定した財政運営の指標としては、経常収支比率がある。（事務局）

・安定した財政運営の確立は、人によって読み方が違う。安定した財政運営をすることが安定した行政運営につながる。つまり、安定した行政を進めるために、これだけのお金は必要である。それをどのように生み出すかについて、施策 71 の取組 1 つ目で、減らす又は組みかえるなどによって、行政がやるべき仕事をやるためにはこうしなければならないということについて、取組 2 つ目に記載されている。

また、歳入を増やすために何をやるか、歳出が多すぎるのであれば何を削るかといった各論を施策 72、73 に記載されているのではないかと理解している。

- ・市民レベルでわかりやすい表現にしてほしい。
- ・市ががんばってやっている、そういう印象がもてるような文章の書き方にしていきたい。
- ・同じ行政の立場として、これは非常に難しい問題である。節約を継続していくと、基本的に自治体がお金を使わないので、その地域で商売されている方の収入が下がる。すると税金も下がる。どんどん減っていき、経常収支比率が厳しくなってしまうことある。お金の使い方を工夫すべき。また、ある程度借金してでもお金を使いということも大事だと思う。

2 起草委員会の審議状況の結果について《資料 15》

- 各起草委員会のリーダー、副リーダーが要点説明（主な取組が中心）し、全体で共有化を図った。

[環境と都市基盤]

- ・全体で 50 ほどの取組があり、ほとんどが妥当と考えられるものであった。そのなかでいくつかの変更、追加、補足について説明する。
- ・みどりと水について、みどりが重要なキーワードである。それについて、みどりの評価認定制度の導入、アンケート調査、みどりの専門家の配置、

ボランティアの育成、みどりのネットワークの募集などの取組が必要である。

- ・市街地整備について、小金井市のイメージは、農地がある牧歌的な風景というキーワードをつけた。農地の減少は不可避な問題であり、それを回避することはできないが、それを承知の上で、取組を考える必要がある。
- ・2022年問題（生産緑地の指定から30年経過したとき、所有者は市町村に対して買い取りの申し出を行うことができ、市町村は特別な事情がない限り自家で買い取らなければならないという規定）に関しても看過できない問題である。
- ・宅地化というものに備えた間接的な取組を視野にいれておくことが必要。対処法としては、市の宅地開発あるいは再開発のときに、公開コンペを実施するなどして、市のイメージを維持していかれるのではないか。
- ・駅名変更の提案があった。東小金井駅を小金井公園駅、新小金井駅を野川公園駅とする案によって、小金井市は緑豊かな公園があるまちという認知をされるのでは。実現には多くの障害があると思うが取り組む価値は十分あるのではないか。
- ・小金井らしい住環境の維持のため、宅地開発指導要綱などによる規制的な指導をしていかなければと思う。
- ・その他、歩車共生、パーミアビリティ、自動車専用道路の設置、農家道の保守などについての意見があがった。

[地域と経済]

- ・5年経っての見直しということのため、大きく変えるというよりは、ちょっとした方向修正や必要になったものを加えていくという進め方をしている。
- ・全体的に言えることは、人と人、団体と団体をつなげたり、ばらばらに行っているものをまとめられるならまとめていくといった方向とされている。
- ・その他、小金井好きの人に得意な分野で大使になっていただき、市のPRをしていただく。またその過程で物産の掘り起しなどもして、その収入を得て、税金を納めていただくような仕組みや流れが作れば良いのでは。
- ・また、本日配った資料で、「中間支援組織」についてだが、別の委員会で進めているのだが、観光協会と黄金井の里という団体を合わせることによって、予算の圧縮と人件費の圧縮をして、今までよりもうまくお金が使えるようになったということもできると思う。

[文化と教育]

- ・ 共通的なもので抽象的にまとめてではなく、1つ1つのテーマについて意見がでたので、それを紹介する。
- ・ 施策 36【総合的な文化振興の推進】について、質の高い運営のためには、常勤の学芸員がいることが質の高い運営につながるだろうということでの意見があった。また、組織の縦割りにとらわれず、単に音楽のことだけとかいうことではなくて、総合的な観点からの取り組みを記載していかないか。
- ・ 施策 37【文化施設の効率運営】について、交流センターなどでの楽器レンタル。市民が他市や大学、企業から借りる際の支援。ヘブンアーティストが市内でも活動できる場の提供。文化施設利用拡大のための広報やネット、情報提供をさらに推進したらどうか。
- ・ 施策 38【文化交流の推進】について、オリンピックを視野に入れたおもてなし施策。留学生と小中学生との交流、外国語のコミュニケーション。大学生と市内の小中学生の交流。国際交流連盟はないが、そういう活動している団体への支援を追加。小さな美術館がある他都市との交流。日本語を母国語としない子供のサポート。
- ・ 施策 39【人権・平和に関する施策】について、戦争を伝える媒体を公開するような努力。戦争世代の体験や、写真、映像、書籍の出版など、さらに積極的な推進。マイノリティーの関係の方たちの、現代の潜在的な課題に対する対応策の検討。
- ・ 施策 40【男女共同参画】について、女性管理職の割合、男性の育児休業取得率の目標値を立てて、掲載するといひ。
- ・ 施策 41【活動の場の充実】について、地域センターが老朽化しているため、速やかな対応の計画化。自販機など市民サービスの観点からは充実の面へ転換。公共施設では防音施設が3つ程度しかない。楽器の演奏をする場の充実。活動が促進されるような学校開放のあり方の推進。
- ・ 施策 42【生涯学習活動】について、高校生、留学生の活躍の場を設ける。生涯学習コーディネーターの推進と多世代の交流。放課後子ども教室の推進。放課後子ども教室の概念にとらわれず、土曜日の活動の推進。若者が学生のときから生涯にわたって学習をしていくという基盤ができるような環境の整備。
- ・ 施策 43【スポーツ・レクリエーション活動の支援】 総合型地域スポーツクラブを今より増やすような目標設定での取組。チャレンジデーを行った後のステップとしては、スポーツの普及振興を進める関係者全体が一堂に会した会議の場の設置。大学と連携して市民活動をサポートする形に制度を作るべきではないか。ふだん運動していない方も何かのきっかけによってスポーツ活動に入っていける機会の提供を進めてはどうか。
- ・ 施策 44【スポーツ・レクリエーション施設の活用】について、障がい者

対応のバリアフリーの関係の記述も入れたらどうか。

- ・施策 47【幼児教育】について、保育分野との歩調を合わせたような整合性のある書き方にする必要がある。

[福祉と健康]

- ・地域における福祉と健康づくりについて、身近な問題として意見を出した。
- ・小金井市で現在、60歳以上は20%、65歳以上で25%の高齢者がいることが現状であり、大きな問題としては、高齢者の生きがいの場づくりをどうするかだと思う。
- ・メンバーに子育て中の方がいたので、子育てに関する詳しい話がでた。
- ・高齢者や障がい者のノーマライゼーションの推進、地域での普通の生活をどうするかについて意見を取り交わした。
- ・また、在宅で家族とともに看護介護をすることは医療との連携が重要である。

○主な意見

- ・農地の保全について、2022年の問題もあり避けられないが、農家と市民と両方が現在ある農地に対する考え方を根本的に変えていく必要がある。
- ・空き家を学生に貸すといった事例がある。行政も何かサポートして空き家対策ができるといいのでは。
- ・文化と教育分野に記載されている市民交流センターについて、現在も優先的に抽選に参加はできるが、更に市民が優先的に借りられないのか。
- ・施策 38、39 に関して、現在活動している団体があれば、その団体の活動がより充実することを応援するとか、そのような視点も加えてほしい。
- ・総合型地域スポーツクラブについて、現在小金井市の現状は。
⇒文科省が、地域の身近なところに地域スポーツクラブを作っていこうと提唱して始まったもの。複数の種目、複数の世代を対象としている。現在は市に1つである。(委員)
- ・小さい子どもを遊ばせる水辺の環境がないことが課題である。施策のどこかに入れてほしい。
⇒環境と都市基盤の分野では、みどりでも水辺でも人がいる。水辺があって人が憩えるということを大前提にしているため、意見を踏まえて施策 4 には記載していると考えている。(委員)
また、野川公園の中の野川第一調整池、第二調整池で自然再生事業をやっており、子どもが田植えなどしたり遊べる環境となっている。(委員)

3 「こがねいまちづくり カフェ」（市民懇談会）の運営について
《資料No.16、資料No.17》

○事務局から説明

- ・ 6月15日まちカフェ準備会に8人出席いただき、全体の流れ、役割分担、テーマ設定など議論した。本日は、準備会で出た意見をもとに審議会の委員全体で進行について決定いただきたい。
 - ・ 応募者について、6月15日締切で公募4人、無作為抽出23人、同伴者4人の31人。定員に余裕があったため、期限を19日まで延長し、追加で公募16人、無作為抽出1人、同伴者1人の計18人で、最終的合計が49人となった。委員の方々を含めて、ちょうど60人である。
 - ・ まちづくりカフェの全体の進行役であるファシリテーターについて、上原委員にお願いをしたいということで準備会ではまとまったが、いかが。
- （拍手により了承された。）

○トーマツから説明

- ・ 資料17をもとに説明

【決定事項】

- ・ 小金井市の現況についての分野ごとの担当者
環境と都市基盤・・・杉山委員
地域と経済・・・今井委員
文化と教育・・・鉄矢委員
福祉と健康・・・岡本委員（後日、本人承諾）

○主な意見

- ・ アイスブレイクまでの1時間は長いのではないか。各ラウンドの時間が短くなってしまふのでは。
- ・ テンポのいい形で進めていかないとマンネリ化してしまふのでは。
- ・ 発言時間1人トータル15分はそう短くはない。
- ・ あまり長いのも不安である。

⇒なにがしかの結論を求める場ではないため、いろいろな意見を聴く場であるし、聴いた中で気づきがある。その場でフィードバックするのはかなり大変ではあるため、次の審議会で各分野話す時間を設ける。

順番時間については、上原委員と事務局とで最終決定することについて一任いただきたい。（トーマツ）

（了承）

～以上で会議終了～